

2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	看護学科	履修者数	1,710
------	------	------	-------

回答者数	440
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	139	150	74	77	0
	31.6	34.1	16.8	17.5	0.0

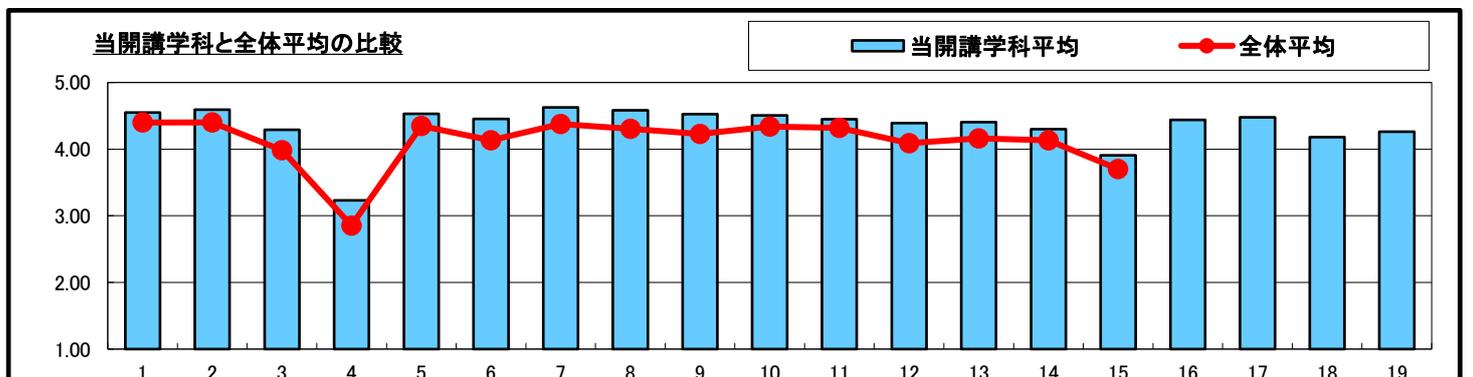
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.55	275	141	14	10	0	440	0
			62.5	32.0	3.2	2.3	0.0		
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.59	287	131	17	3	1	439	1
			65.4	29.8	3.9	0.7	0.2		
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.29	199	182	47	12	0	440	0
			45.2	41.4	10.7	2.7	0.0		

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.23	2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くして いない	440	0
			80	87	156	90	27		
			18.2	19.8	35.5	20.5	6.1		
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.53	269	139	28	1	2	439	1
			61.3	31.7	6.4	0.2	0.5		
6	この科目の難易度は適切であった	4.46	240	166	27	5	1	439	1
			54.7	37.8	6.2	1.1	0.2		
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.63	294	128	12	4	0	438	2
			67.1	29.2	2.7	0.9	0.0		
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.58	289	125	21	3	2	440	0
			65.7	28.4	4.8	0.7	0.5		
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.53	275	124	28	6	2	435	5
			63.2	28.5	6.4	1.4	0.5		

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.51	270	134	22	10	2	438	2
			61.6	30.6	5.0	2.3	0.5		
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.45	265	130	29	10	6	440	0
			60.2	29.5	6.6	2.3	1.4		
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.39	244	150	29	9	8	440	0
			55.5	34.1	6.6	2.0	1.8		
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.41	242	148	37	10	2	439	1
			55.1	33.7	8.4	2.3	0.5		
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.30	215	164	46	8	7	440	0
			48.9	37.3	10.5	1.8	1.6		
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.91	十分に 読んだ	よく読んだ	どちらとも いえない	ほとんど 読まなかった	全く読んで いない	437	3
			136	177	80	35	9		
			31.1	40.5	18.3	8.0	2.1		

▼学科設問									
16	自分から主体的に学べましたか	4.44	223	189	23	4	0	439	1
			50.8	43.1	5.2	0.9	0.0		
17	この科目に対して関心が高まりましたか	4.48	249	157	29	5	0	440	0
			56.6	35.7	6.6	1.1	0.0		
18	この科目の内容をDP（ディプロマポリシー）と関連づけて学ぶ事ができましたか	4.18	177	185	63	7	7	439	1
			40.3	42.1	14.4	1.6	1.6		
19	この科目の内容や到達状況を学年到達目標と関連付ける事ができましたか	4.26	193	190	43	4	9	439	1
			44.0	43.3	9.8	0.9	2.1		



2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	看護学科
講評者	学科長 白石葉子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境、グループサイズについては、62%以上が「とてもそう思う（適切）」で「ややそう思う」と合わせ約9割であることより、学科教員は学生が学習しやすい環境に調整できていると考えられる。今後も継続していきたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	教員側の視点として「シラバスに即した内容か」「有益か」「キャリア形成に役立つか」「対面が適切か」については、61%以上が「とてもそう思う（適切）」と回答しており、看護専門職としての学びが有効であったと考えられる。ただし、科目の難易度については「とてもそうである」は55%とやや低く、専門的な授業の内容が難しかった可能性がある。さらに学生に理解しやすい教授方法を工夫していく必要がある。一方学生側の視点として「授業時間外の学修時間」は30～60分が最も多く、自己学習を自主的に行っていけるような取り組みが必要である。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	「教員の話し方」「スライド・配布資料」は60%以上が「とてもそう思う（適切）」で「ややそう思う」と合わせて約9割であることより、学科教員は学生に分かり易い伝え方や教材を使う事ができていたと考えられる。一方、「学生への授業への参加の促し」「学生の反応の確認」「必要に応じた受講態度の注意」については49%～56%とやや低く、授業中の双方向のコミュニケーションや、学生の受講態度に注意を払うことについて、向上させていく必要がある。また、学生側の視点として、「シラバスを十分～良く読んだ」者は約72%に留まり、授業前からの働きかけが必要である。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	「主体的学習」については、「とてもそう思う（適切）」は51%であった。主体的学習は学科の目標にもなっていることより、「時間外学修」「シラバスの確認」も含め、主体的に学習できる取り組みを強化する必要がある。また、DPや学年到達目標と科目の関連については、「とてもそう思う」割合は40%台と項目の中で最も低かった。授業計画における学生への説明や、授業中に学年別ルーブリック評価の到達度を意識させるなど、強化していく必要がある。